

令和2年10月6日(火)
高齢者施設等への応援派遣に係る感染防止対策研修

高齢者施設におけるクラスター 対応の実践から

熊本県天草保健所
服部 希世子

本日も話の内容

■ 高齢者施設におけるクラスター対応 ～事例の対応を交えて・保健所の視点から～

- ・ 初動対応
- ・ 積極的疫学調査
- ・ 検体採取、検査の実施
- ・ クラスターを確認したら
- ・ 医療調整
- ・ 施設サービスの継続
- ・ クライシス・コミュニケーション
- ・ 施設職員のこころのケア
- ・ 終わりに

入所者または職員に1名でも陽性者が発生したら

□ 医師からの確定患者発生届により保健所が探知

□ 探知後、保健所は速やかに施設を訪問（初動対応）

■ 初期評価が終わるまでは施設の機能を一時的に止める

■ 陽性者の行動を詳細に調査

発症日の2日前から入院まで（感染可能期間）の行動

発症日の14日前からの行動（感染源の推定）

陽性者が初発とは限らないことに留意

(初動対応 続き)

- 陽性者以外の有症状者の把握
→ゾーニング・コホーティングの実施
- 濃厚接触者、その他接触者の把握
通所者、面会者、退所者なども
- 速やかな検査の実施
検体採取計画の作成、検査機関との調整

初動対応でお願いすること

- 全入所者・全職員の一覧表、図面の提供
- 施設担当者との連絡体制（休日、夜間含む）
- 各責任者と保健所職員との関係構築
(施設長⇔所長、事務長⇔次長、看護部長⇔保健予防課長等)
- 保健所職員の活動場所の確保
打ち合わせ、事務作業
- 家族、職員へ適時適切な説明

積極的疫学調査

- 施設内初期評価および感染拡大防止対策を適切に進めるため、迅速かつ正確な調査を実施
- 濃厚接触者、その他接触者の把握（リスト作成）
 - 検査対象の範囲は広く捉えるが、濃厚接触者の把握と適切な管理（囲い込み）はその後の感染管理に重要
 - 通所者、面会者（家族等）、退所者も漏れないように
 - 職員：業務時の行動（場所・時間）、感染防護の有無
- 記録を確認する
 - 勤務症状、症状の有無等は必ず記録で確認する
- 委託業者等出入りの確認（リネン、廃棄物、清掃等）

濃厚接触者とは

※新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領
(令和2年5月29日 国立感染症研究所)

「患者（確定例）」（無症状病原体保有者を含む）の感染可能期間に接触した者のうち、次の範囲に該当する者。

- 患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
- 適切な感染防護無しに患者（確定例）を診察、看護若しくは介護していた者
- 患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- その他：手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なしで、患者（確定例）と15分以上の接触があった者

新型コロナウイルス感染症患者の接触者リスト

医療機関・施設用

※ 月 日～ 月 日までの状況をご記入ください

施設名：
住所：
連絡先：
担当者名：

接触者リスト（濃厚接触者）

接触者 番号	フリガナ 氏名	所属 <small>(外来、病棟名、職種等)</small>	年齢	接触状況 等	感染防護具 等	症状の有無 <small>(発症日、症状)</small>	備考
例	アマクサ 天草 太郎	○病棟	36	①受け持ち日（本人、同室患者）：4/1、4/2 ②処置の種類等：バイタル、体位変換、食事 介助、清拭、検体採取	マスク・ガウン・手袋・ フェイスシールド（ゴーグル）・ 処置後の手指消毒	無/有 (症状： 月 日～)	
1					マスク・ガウン・手袋・ フェイスシールド（ゴーグル）・ 処置後の手指消毒	無/ (症状： 月 日～)	
2					マスク・ガウン・手袋・ フェイスシールド（ゴーグル）・ 処置後の手指消毒	無/ (症状： 月 日～)	
3					マスク・ガウン・手袋・ フェイスシールド（ゴーグル）・ 処置後の手指消毒	/有 (症状： 月 日～)	
4					マスク・ガウン・手袋・ フェイスシールド（ゴーグル）・ 処置後の手指消毒	無/ (症状： 月 日～)	
5					マスク・ガウン・手袋・ フェイスシールド（ゴーグル）・ 処置後の手指消毒	無/有？ (症状： 月 日～)	
6					マスク・ガウン・手袋・ フェイスシールド（ゴーグル）・ 処置後の手指消毒	無/有 (症状： 月 日～)	
7					マスク・ガウン・手袋・ フェイスシールド（ゴーグル）・ 処置後の手指消毒	無/有 (症状： 月 日～)	
8					マスク・ガウン・手袋・ フェイスシールド（ゴーグル）・ 処置後の手指消毒	無/有 (症状： 月 日～)	
9					マスク・ガウン・手袋・ フェイスシールド（ゴーグル）・ 処置後の手指消毒	無/有 (症状： 月 日～)	

社会福祉施設用

氏名:

所属:

感染予防策の実施状況について

患者さん等への処置を行う際の感染予防策の実施状況について、
ご記入をお願いいたします。

職種等	居住（業務） フロア	予防策の 内容	実施した処置（当てはまるものに○）						接触時間の 合計が15分 以上
			吸引	おむつ 交換	食事 介助	口腔ケア	1m以内 の会話	その他 ()	
		マスク							
		ガウン							
		手袋							
		フェイスシールド・ゴーグル							
		処置後の手指消毒							
		その他							

検体採取、検査の実施

□検体採取方法、検体採取場所の確認

唾液、鼻咽頭ぬぐい液、鼻腔ぬぐい液など
駐車場、会議室など

□検体採取に必要なPPEの確保

□確実な検体の管理

検査対象の人数が多いと、検体の取り違いが起こり得る
濃厚接触者等のリストをもとに、複数人で確認
可能な限り速やかに4℃で保存

クラスターを確認したら：

大規模事故・災害への体系的に必要な項目 **CSCATTT**

medical management (医療管理項目)

- **C:Command & Control** 指揮・統制
- **S:Safety** 安全
- **C:Communication** 情報伝達
- **A:Assessment** 評価

medical support (医療支援項目)

- **T:Triage** トリアージ
- **T:Treatment** 治療
- **T:Transport** 搬送

Point:「TTT」
を行う前に
「CSCA」の確
立を優先！

「CSCA」の確
立がなけれ
ば「TTT」は円
滑に機能しな
い

医療調整

□高齢者施設の入所者で陽性者が発生した場合は、原則入院

□ただし、①施設内での患者発生数、②地域での患者発生状況、③地域の医療提供体制（病床逼迫の有無）をもとに、施設・医療・行政とで検討し、施設内で陽性者の対応をせざるを得ない場合もある

(例)

■陽性者数が少数の場合は入院

■陽性者数が多数の場合は、無症状者・軽症者は施設内療養、中等症以上は入院

□陽性者を（一時的に）施設内でみる、という気持ちの準備

医療調整

□施設内療養の場合

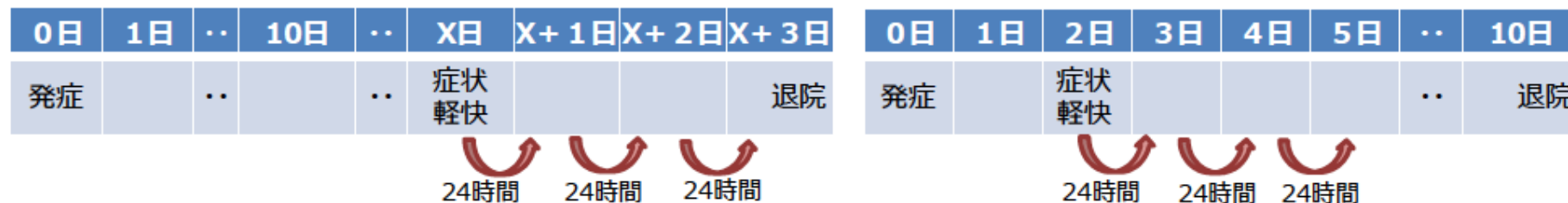
- 日々の病状の評価をもとに入院の必要性を判断するため、医療チームによる継続的な支援が必要
- 施設サービス継続に必要な人員の確保
- 適切なゾーニングとゾーンに応じた感染予防対策、ケアに当たる職員の固定

□戻り搬送の受け入れ

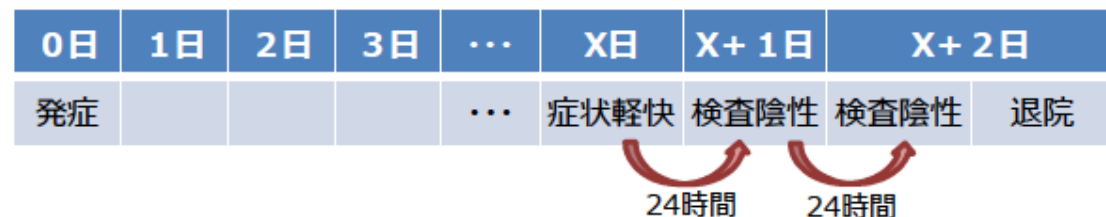
退院基準を満たした患者を入院先の病院から移す場所（入所先）の確保

【有症状者の場合】

- ① 発症日から10日間経過し、かつ、症状軽快後72時間経過した場合、退院可能



- ② 症状軽快後24時間経過した後、24時間以上間隔をあけ、2回のPCR等検査で陰性を確認できれば、退院可能



【無症状病原体保有者の場合】

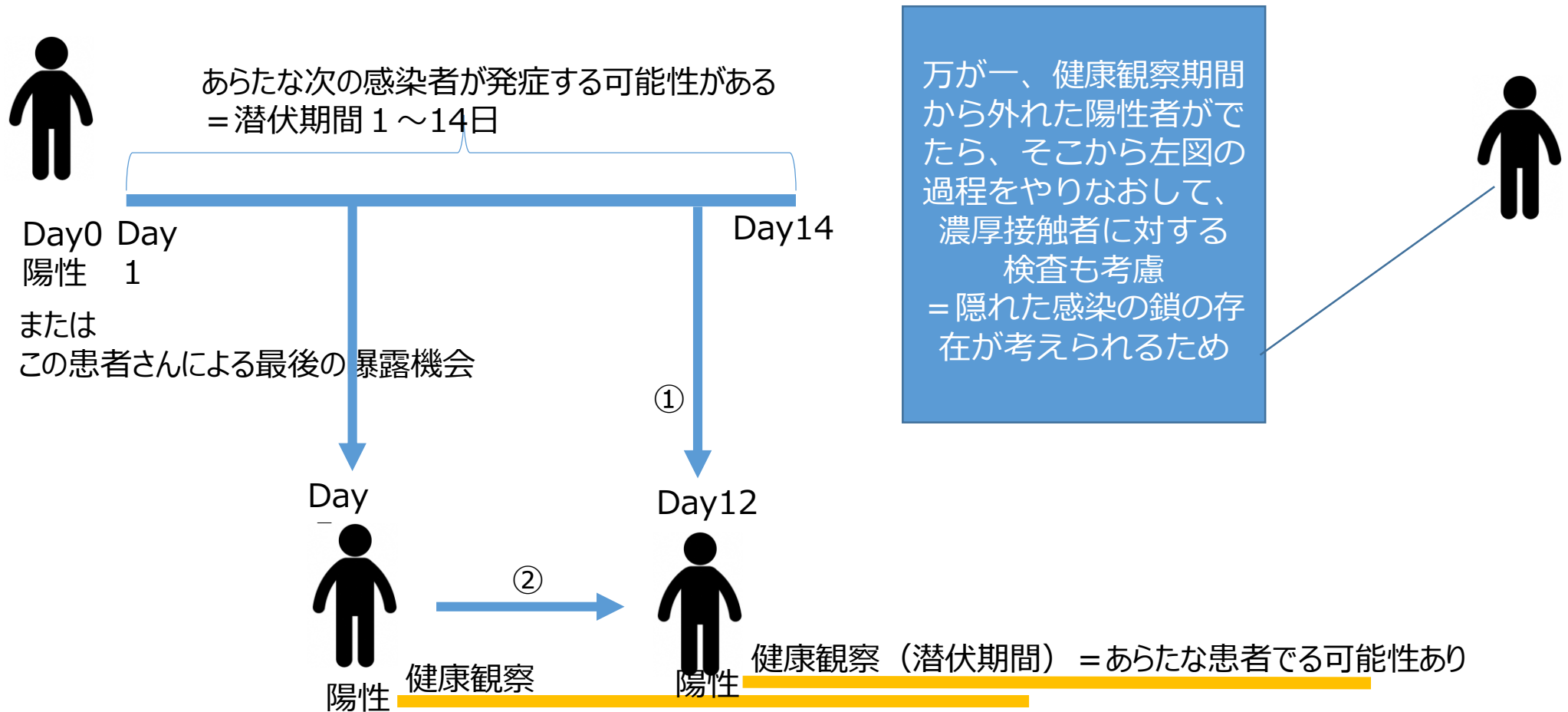
- ① 検体採取日（陽性確定に係る検体採取日）から10日間経過した場合、退院可能



- ② 検体採取日から6日間経過後、24時間以上間隔をあけ2回のPCR等検査で陰性を確認できれば、退院可能



(参考) 健康観察期間の考え方



患者さん同士の接触が防ぐことができない環境では、感染経路が①か②かは同定不可能なので、発症者を起点に、濃厚接触者の検査をする必要はないと考えます（きりがない）。そのかわり、健康観察の起点を数え直して、健康観察をしっかり行う。健康観察期間中は病棟はレッドゾーン扱い。

施設サービスの継続

□感染予防対策

- 標準予防策・PPEの着脱指導
- ゾーニング・ゾーンに応じた消毒、感染管理の周知
- PPEの確保
- 感染管理専門家の派遣

施設サービスの継続

□ サービス継続に必要な人員の算出と支援要請

- 施設内職員のうち、業務可能な職員数の把握と適切な労務管理

→ 職種別に必要な人員を算出

- まずは、同一法人等の職員による支援

- 外部支援の調整

施設、職能団体等への依頼

(医師、看護師、介護士など)

□ リネン・感染性廃棄物・清掃に係る委託業者の確保

陽性者を受け入れた医療機関などからの情報提供

新型コロナウイルスの廃棄物について

令和2年4月23日
一般社団法人日本病院寝具協会

新型コロナウイルスに係る感染性廃棄物も

他の感染性廃棄物と同様に処理可能です(※)。

※「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」に沿って処理してください。




消毒して再利用できるもの(リネン類など)はむやみに廃棄せず、廃棄物の減量化に心がけましょう

新型コロナウイルスに感染した方・その疑いのある方が使用したリネン類については、他の感染症と同様の取扱いで問題ないと考えられますので、むやみに廃棄せず、これまで同様の感染症対策に準じた処理で対応してください。

手袋やマスクを着用して直接触れないように注意し、熱水による洗濯や、次亜塩素酸・アルコールによる消毒を行うなど通常どおり取り扱うようお願いいたします。

感染性廃棄物は、その種類や性状に応じて適切な容器に梱包しましょう

容器は、密閉できる、収納しやすい、損傷しにくいものであって、感染性廃棄物の種類や性状に応じて適切な容器を選んでください。

①注射針、メス等の 鋭利なもの	②血液等の液状または 泥状のもの	③血液等が付着した ガーゼ等再利用しないもの
耐貫通性のある 堅牢な容器	漏洩しない 密閉容器	丈夫な プラ袋の二重使用 または、 堅牢な容器
		
例：プラスチック製容器	例：プラ袋(二重使用) / 段ボール容器(内袋使用)	

※ ①～③を一緒に梱包する場合は、耐貫通性、密閉性を併せ持つ、プラスチック製容器等を使用してください。

※ 詳細については自治体のルールに従ってください。



環境省公式HP



廃棄物処理法に
基づく感染性廃棄物
処理マニュアル(PDF)

新型コロナウイルスに感染の危険のある寝具類の処理方法について (お客様へのお願い)

【1】病院内での消毒(以下「一次消毒」という。)のお願い

以下のいずれかの方法により病院内での消毒をお願いします。

・平成5年2月15日指第14号 厚生省健康政策局指導課長通知「病院、診療所等の業務委託について(抄)」の別添2及び一般社団法人日本病院寝具協会発行「寝具類の消毒に関するガイドライン(第7版)」のそれぞれの一部を準用して行う消毒方法による。

A: 熱水消毒(80° C・10分)

B: 0.05%(500ppm)～0.1%(1,000ppm)の次亜塩素酸Na溶液に30分間浸漬後、洗濯。(浸漬後の洗濯は次亜臭がなくなる程度に洗い流していただければ結構です。)

* <上記Bの溶液濃度の参考例>

例えば、市販の6%の塩素系漂白剤(ハイター・ブリーチ等)を利用する場合、2ℓの水に対して20cc(ペットボトルキャップ4杯程度)で、0.06%(600ppm)になります。(なお、この溶液に30分間浸漬後、洗濯も可)

(注1) 病院内で上記のA又はBの一次消毒を実施するために病室から運び出す場合の注意として、ビニール袋で二重に密閉して外側を0.05%(500ppm)の次亜塩素酸Naで清拭又は含有率70%以上のエタノールで清拭してください。

(注2) 病院内で消毒済みの寝具類については、上記の(注1)とは別のビニール袋に入れ、袋内の空気をなるべく抜き二重に密閉、外側を0.05%(500ppm)次亜塩素酸Naで清拭又は含有率70%以上のエタノールで清拭して、「消毒済み」「病院名」「新型コロナウイルス」と明記の上、洗濯委託業者に引き渡してください。

【2】上記【1】の代替案

本来は、上記のA又はBの処理が病院内で行われることが大原則ですが、設備的な理由や人員確保の面などで困難な場合は、以下の方法も参考にしてください。

C: 寝具類を水溶性バッグ(PVAフィルム等)に入れ、しっかりと口を締め、更にそれをビニール袋に入れて、二重に密閉した状態で外側を0.05%(500ppm)の次亜塩素酸Naで清拭又は含有率70%以上のエタノールで清拭して下さい。

D: 寝具類に含有率70%以上のエタノールを、近距離でまんべんなく吹き付けした上で、ビニール袋で二重に密閉し、外側を0.05%(500ppm)の次亜塩素酸Naで清拭又は含有率70%以上のエタノールで清拭して下さい。

クライシス・コミュニケーション (危機発生時の情報公開をどうするか)

□迅速、正確、誠実に

何でも公開すべきということではない
個人のプライバシー保護は当然重要

□情報公開の目的、方針の明確化

□まず、入所者・家族への丁寧な説明

□施設の業務に影響が出ることの説明

- どのような影響がでるのか

- 組織としての対応

□情報公開の仕方は説明の対象によって変化

HPへの公開・プレスリリース、電話・メールなど

施設職員のこころのケア

- 施設職員は、サービスを継続する重要な役割を担っている
 - 責任感、使命感でとにかく走り続けている、休めない
 - 自宅に帰らず、車中や施設内で寝泊まり
自己犠牲のもとで生活を送っている
 - 慣れない勤務環境（緊迫感、感染対策、外部支援など）、
風評被害も加わり、心身への負担が非常に大きい
- ⇒職員の休養を確保する、気持ちを吐き出す場を作る

～こころの健康を保つためにできること～

このたびは、新型コロナウイルス感染症に伴う対応等で動揺し、こころも体も疲れている方もいらっしゃると思います。

ウイルス等の感染は、日常生活の中で起こることであり、今回の新型コロナウイルス感染についても、誰かのせいというわけでは決してありません。

しかし、このことでご自身を責めてしまう、先が見えないために不安になるなど気持ちが悪くなることもあるかもしれません。

強いストレスを受けたり、慣れない環境の中で過ごしていると、誰しも、以下のような感情や反応が生じることがあります。

これらの反応が生じるのはとても自然なことで、ほとんどが自然に回復していきます。

気持ちの変化

- 悪質な事態を思い、不安になる
- 自由が制限されることで、怒りや不満を感じる
- 他の人との交流が制限されるため、寂しさや孤独を感じる
- イライラしたり腹を立てやすくなる
- ちょっとした刺激でビクッとする
- 感情がマヒしたようになる



からだの変化

- 疲れやすかったり、不眠、食欲不振がある
- 頭痛などの痛みや動悸、息切れがある
- 悪夢を見る

考え方の変化

- 辛かったことを繰り返し思い出す
- あのときああしておけば良かったと自分を責める
- 辛いことを思い出させることを避ける
- 得意にも意欲的になり、物事が手につかないようになる

こころの健康を保つために、ご自身でできることもあります。

○可能であれば、読書や音楽を聴くことなど、時間を決めてできる日課を作りましょう。

また、影響がない範囲で体を動かしてみましょう。

○電話や SNS を使って家族や友人とのつながりを維持するようにしましょう。

○面白いテレビや動画などを見て、笑顔や小声でくすくす笑うだけでも、不安やイライラ感を和らげることができます。

○多すぎる情報に触れることで不安が高まることがあります。信頼できるところから知識と情報を得るようにしましょう。

○「つらい気持ちを誰かに話す」ことで、しんどさが和らぐことがあります。感情を溜めたり、抑え込まず、相談してみましょう。



★新型コロナウイルス感染症に関するこころの電話相談★

熊本市外の方は、熊本県精神保健福祉センター

096-386-1166 (平日 9:00~16:00)

熊本市内の方は、熊本市こころの健康センター

096-362-8100 (平日 9:00~16:00)

※匿名で相談可能です。

※一時的なこころの悩みや不安の相談もお受けしております。

★新型コロナウイルス感染症に関する一般的なお問い合わせ

★最寄りの保健所などに連絡

熊本市保健所	096-372-0705 (熊本市)
	096-364-3222 (熊本市)
存続保健所	0968-72-2184 (熊本市・玉名市・玉名郡)
山鹿保健所	0968-44-4121 (山鹿市)
菊池保健所	0968-25-4138 (菊池市・西志市・菊池郡)
阿蘇保健所	0967-24-9030 (阿蘇郡)
熊延保健所	096-282-0016 (上益城郡)
宇城保健所	0964-32-1207 (宇土市・宇城市・下益城郡)
八代保健所	0965-33-3229 (八代市・八代郡)
水原保健所	0966-63-4104 (水原市・熊北郡)
人吉保健所	0966-22-3107 (人吉市・球磨郡)
天草保健所	0969-23-0172 (天草市・上天草市・天草郡)

* コピーフレットは、熊本市精神保健福祉センターのリーフレットを参考に作成しました。

山鹿保健所管内の介護老人保健施設で発生したCOVID-19クラスター対応支援活動

□支援活動開始の経緯

7月26日（日）施設職員（介護職）1名の陽性確認

山鹿保健所による初動対応開始

27日（月）施設入所者17名、職員7名の陽性確認

→クラスター発生確認

→県の要請により（7月豪雨災害のため

支援に入っていた）DMAT事務局が支援開始。

医療支援、応急的なゾーニングの実施、ゾーン

ごとの標準的なPPE等の応急的指導の実施など。

28日（火）県の要請により、山鹿保健所指揮のもと施設への支援活動開始。

支援活動開始当日の状況

- 検査対象となる入所者、通所者、職員全員の初期スクリーニング中。
- 入所者および職員の誰が陽性で、誰が陰性なのかまだすべてが判明しないなか、ケアを提供したり、業務を継続しないとはいけない状況。
- (入所施設) 2階レッドゾーン、1階グレーゾーン。
- 事務フロアの1室に支援活動本部の活動場所が設置。
山鹿保健所、DMAT、熊本県等
- 1日2回(朝・夕)、施設長、事務長、看護部長等の施設職員と支援活動本部とのミーティングを実施し、状況の把握、対応方針を決定。

朝・夕ミーティングでの検討項目

- PCR検査の状況（入所者、職員、面会者、ショートステイ、通所）
- ゾーニングと感染対策
- 搬送実施状況、方針
- 入所者の健康管理
- 人的支援の状況
- 物的支援の状況（PPEの確保状況）
- ロジスティクス
 - ・感染性廃棄物、リネン、洗濯、食器、清掃
- 職員の精神的ケア
- 家族対応

DMAT事務局作成 ゾーン別個人防護具着用例

個人防護具着用例 GREEN

基本スタイル：

入居者に対する濃厚接触を伴わない場合



サージカルマスク

施設に入るときは、サージカルマスクの着用が必須です。

職員休憩室や更衣室などでもサージカルマスクを着用しましょう。

- 配膳
- 配薬

入居者と接する際は手指消毒を心がけましょう。

その2：入居者に濃厚接触を伴う以下の行為を行う場合



サージカルマスク、手袋、エプロン

- おむつ交換
- シーツ交換
- 清拭
- 陰部洗浄
- 体位変換
- 食事介助
- 器具の洗浄・消毒時
- 清掃

その3：入居者に濃厚接触を伴う以下の行為を行う場合



ゴーグルorフェイスシールド、サージカルマスク、手袋、エプロン

- 口腔ケア
- 吸痰吸引
- むせの多い方への食事介助

個人防護具着用例 RED

基本スタイル：

入居者との直接の接触がない（直接触れない）



フェイスシールド、サージカルマスク、手袋

REDエリアに入るときには、サージカルマスクとフェイスシールドの着用が必須です。

- 配膳
- 配薬

その2：入居者との接触がある



フェイスシールド、サージカルマスク、手袋、ガウン

- おむつ交換
- シーツ交換
- 清拭
- 陰部洗浄
- 体位変換
- 食事介助
- 器具の洗浄・消毒時
- 清掃

その3：入居者との接触がある



フェイスシールド、N95マスク、手袋、ガウン

- 口腔ケア
- 喀痰吸引
- むせの多い方への食事介助

対応する入居者ごとに、手袋とエプロンは交換（※手袋外したら手指消毒忘れずに！）しましょう！
サージカルマスクは汚れたら交換するようにしましょう！

対応する入居者ごとに、手袋とガウンは交換（※手袋外したら手指消毒忘れずに！）しましょう！
サージカルマスク・フェイスシールドは汚れたら交換するようにしましょう！

支援メンバー、支援活動期間

7月28日 (火)		7月29日 (水)		7月30日 (木)		7月31日 (金)	
医師	1名	医師	1名	医師	1名	医師	1名
保健師	2名	保健師	2名	保健師	2名	保健師	2名
事務職	2名	事務職	3名	事務職	3名	事務職	2名
		薬剤師	3名				

8月1日 (土)		8月2日 (日)	
医師	1名	医師	1名

主な支援活動内容

- 検査対象となる入所者、職員等のリスト作成支援
- 濃厚接触者の範囲の決定支援
- PCR検査の検体採取支援（鼻咽頭ぬぐい液）
- 陽性者の入院搬送調整支援、搬送の実施
- 施設内の消毒助言指導
- 感染性廃棄物の処理、処理の際の感染対策支援
- リネン、洗濯の実施支援
- 朝・夕ミーティング参加
- 山鹿保健所、県庁との情報共有

外部支援の状況（DMAT事務局作成活動報告より）

- 勤務できる施設職員は最大で約3割減少。
- 主に2階で支援できる職員の確保、感染予防対策、クラスター対応のマネジメントができる人材が必要だった。
- 関連施設・病院より、事務職3～4名、看護師2～3名
(7/30～)

□外部支援

- ・ DMAT事務局（医師、看護師、ロジ） 2～4人/日（7/27～8/22）
- ・ 熊本県DMAT（医師、看護師、ロジ） 1～3人/日（7/31～8/17）
- ・ ジャパンハート（看護師、ロジ） 2～4人/日（7/30～8/14）
- ・ 感染管理認定看護師 1～2人（7/29、7/31～8/15）
(山鹿保健所管内医療機関)
- ・ 厚労省クラスター対策班（医師） 1人（7/29）

支援活動中のメモ

- 「職員の疲弊が強い。」
- 「感染管理に慣れていない職員もいるが、疲弊が強いなかで支援者による指摘や指導は、さらに負担となる可能性もあり。」
- 「入所者の隔離徹底が難しい。」
- 「厳密なゾーニング、徹底的な感染対策は難しい印象。」

終わりに

- COVID-19は日常生活で感染しうる。誰でも、気づかないうちに感染する可能性がある
 - ⇒ 予防対策（マスク、手洗い、3密を避ける）が重要
- 陽性者が発生しても健康被害が最小限になるように準備しておく
 - 感染対策の確認（濃厚接触者を減らすために）
 - 入所者へのケア時、食事や休憩の時、更衣室、定期的で適切な施設内清掃など
- 早期探知のため入所者・職員の確実な健康観察と記録
- 指揮命令系統の確認
- 応援体制の確認
- アドバンス・ケア・プランニングの確認

この冬も、みんな
元気に乗り切り
まいるしょう！



ご清聴ありがとうございました。